

実施日：令和8年（2026年） 5月 20日
6月 10日

研究テーマ：豊中市障害児教育基本方針（改定版）の実現に向けた支援教育の在り方
～通常の学級における特別の教育課程の指導と自立活動の指導～

5月の活動内容

自立活動の実践交流

（グループ学習・個別学習）

- ①自立活動の理解を深めるため、「自立活動って？！～「自立活動」基礎講座～」（富山県総合教育センター）を視聴した。前編は基礎知識編で、自立活動の意義・目標・内容を確認した。後編は授業づくり編で、授業を組み立てる手順を考えた。（実態把握・指導目標の設定・指導項目の選定・具体的な指導内容の設定・評価と指導改善）
- ②刀根山小学校の自立活動（グループ学習）の実践報告：昨年度の1年間の授業内容や指導略案の紹介

- ③大阪教育大学が開発した特別支援教育バーチャルスクール教材のサンプル動画の視聴：教材は、特別支援教育を学ぶ学生向けに作成されているが、児童・生徒の問題行動によるトラブルに対して、教師としてどのように対応すべきかを、発達障害の特性を学習させたAIとの対話を通して実践的に考えることを目指しているもので、現場の取り組みにも参考となる内容であった。
- ④桜井谷東小学校の自立活動（グループ学習）の実践報告：実際の授業で使っている様々な教材の紹介

研究会の達成目標：

「豊中市障害児教育基本方針（改定版）」に則った、豊中市の支援教育の可能性を示す。

6月の活動内容

1. 一昨年度の野畑小学校の指導案（通常学級の図工の授業）と昨年度の桜井谷東小学校の指導案（通常学級の国語・グループ学習）の紹介
2. 支援学級担任と通常学級担任→通常学級における共同学習の授業検討
通級指導教室担当→通級指導の指導内容を取り入れた通常学級の授業検討
3. 個人→グループ 考えた指導案の交流

成果

通級指導教室の先生の授業案では、5分単位で目標にせまる様々な活動を取り入れていることがわかり、通常学級でできなかった課題の補填をする場ではないことを改めて感じた。また、支援学級担任の「入り込み」と言われる指導方法でも、普段から、自立活動の6区分27項目を意識し、個々の目標に向けたどのような取り組みができるかを考えるきっかけとなった。

今後の予定

10月14日 講演会「アセスメントについて」
豊中支援学校 平山雄大先生